

## 第10回評議会議事録

日時：平成16年12月27日 19:00- 20:30

場所：JPF事務局

出席：

評議員

外務省	：上村 司
学識経験者	：中村 安秀
PWJ	：大西 健丞
AAR	：堀江 良彰（NGOユニット副代表理事）
(欠) 日本経団連	：林 寛爾
(欠) 三菱財団	：石崎 登（表決権を中村評議員へ委任）

評議会アドバイザー

社会貢献担当者懇談会 : 森 信之

評議会ゲスト

外務省	：中野、安田
学生ネットワーク	：小野原、斗ヶ澤
ADRA	：橋本
BHN	：篠原、福島
HuMA	：中野
JEN	：木山
PWJ	：山本、国田
SCJ	：宮下
SVA	：関
WVJ	：池田
事務局	：高松、出原、谷口

座長 : 中村 安秀

### I. 定足数確認

評議員定数6名のうち、出席評議員数5名をもって定足数を確認した。

### II. 配布資料の確認

(1) 事務局：スマトラ島沖地震被災状況（12月27日）

(2) 事務局：スマトラ島沖地震支援事業想定スケジュール（12月27日）

### Ⅲ. 議事

#### 1. スマトラ島沖地震支援事業のとり進めについて

- (1) 上村評議員より日本国政府の取り組みについて、大西評議員よりインドネシア・アチェの状況について、続いてNGO（AAR、ADRA、BHN、HuMA、JEN、PWJ、SCJ、SVA、WVJ）より、初動対応ミッションの派遣にかかる準備状況についての説明がなされた。
- (2) 本支援事業の組み立てについては、本会における震災支援タスクフォースによる提案の想定に基づいて取り進めることとし、本会開催時点での大まかな想定スケジュールを事務局提出（案）とすることを了承した。
- (3) 本支援事業実施に係る重点事項を以下のとおりとした。また、本支援事業における初動対応ミッション事業の実施については、1団体1事業地域とすることを決定した。
  - ・ 事業計画策定及び事業運営にかかるNGO間の連携・協力を図ること。
  - ・ 現地の関係機関・団体及び関係者による事業参画を図ること。
  - ・ 現地を管轄する日本国公館との連絡・調整を行うこと。
- (4) 本会より、本支援事業にかかる中間モニタリング及び評価ミッションを派遣することを確認した。

#### 2. スマトラ島沖地震支援事業の運営にかかる事務局体制について

本支援事業を運営するにあたって現行予算計上外で追加的かつ臨時的な経費支出が必要であると事務局長が判断する場合は、状況にあわせ機動的に経費支出を行うこととし、財源整理は別途行うことを承認した。ただし、外務省から、この追加支出の経費負担をすることは不可能である旨付言。

#### 3. スマトラ島沖地震支援事業にかかる広報・資金調達について

本支援事業に係る広報及び資金調達においては、経済界による募金活動の呼びかけを行なっている日本経団連を始めとして、イラン・バム地震の際にご協力いただいた企業各社及び団体及びプレス各社等に対し、ウェブ・サイトやプレスリリースの発信による積極的な情報発信を行い、JPFの活動にかかる社会的認知の向上と資金調達に努めることとした。

また、JPFに係る広報及び資金調達については、本支援事業に留まることなく、本会関係者総員をもって積極的に当たっていくべきことが確認された。

#### 4. 次回評議会開催日時及び会場について

平成16年度第11回JPF評議会を、1月6日午後5時よりJPF事務局にて開催することとした。

以上